

会 議 録 (訂 正 案)

会議の名称	平成30年度 第2回環境審議会
開催日時	平成30年8月22日(水) 18時から19時20分まで
開催場所	田無庁舎3階 庁議室
出席者	【委員】降旗委員、安永会長、鈴木委員、内田委員、石崎委員、高木委員、玉記委員、渡邊委員 【事務局】萱野みどり環境部長、田中環境保全課長、橘環境保全課課長補佐、富永係長、貫井主査 【傍聴人】 0名 【欠席者】 松本副会長、吉迫委員
議 題	1 開会 2 議事 (1) 第1回環境審議会会議録の承認について (2) 市民アンケート調査及び事業者・団体ヒアリングについて (3) 第2次環境基本計画(後期計画)「計画策定の背景」「計画の基本事項」「西東京市の現状と課題等」の検討について (4) その他 3 閉会
会議資料の名称	資料1 第1回西東京市環境審議会 会議録(案) 資料2 西東京市環境に関する市民アンケート調査(案) 資料3 第2次環境基本計画(後期計画)策定にむけて第1章から第3章(案)
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会 議 内 容	
<p>< 1 開会 > (田中環境保全課長より開会のあいさつ)</p> <p>< 2 議事 > (1) 第1回環境審議会会議録の承認について ○会 長：議題(1)の第1回環境審議会の会議録の承認について、事務局の説明をお願いします。 ○事務局：平成30年度第1回環境審議会の会議録の案について、開催通知と同時に皆様にお送りし、修正等のご意見を募ったところ特にご意見はありませんでした。この場で改めて修正等の意見がなければ、この案を正式な会議録としたいが、よろしいでしょうか。 ○会 長：皆様いかがでしょうか。特に意見が無いようなので、承認ということにしたいと思います。</p> <p>(2) 市民アンケート調査及び事業者・団体ヒアリングについて ○会 長：次に議題(2)の市民アンケート調査及び事業者・団体ヒアリングについて、事務局の説明をお願いします。</p>	

(事務局より資料2について説明)

- 会 長：説明ありがとうございました。ご意見やご質問のあるかたは挙手をお願いします。
- 玉 記：アンケート調査票の3頁、設問11について、自転車やバイクではなく、自動車ではないか。
- 事務局：ありがとうございます。ご指摘のとおりです。
- 玉 記：2頁の設問について、5年前の設問と比較したら、交通災害に関する質問が今回無くなっていますが、何か特別な理由はありますか。
- 事務局：抜いたことに特に理由がある訳では無く、他の項目を追加する中で、欠落してしまっています。変化を見るという意味では設問が同じ方が良いと思うので、この部分は再度加えるということで問題ないと考えます。
- 玉 記：近年、道路に自転車のマークが付くなど、ここ数年で変わってきているので、有ったほうが良いと思う。
- 事務局：分かりました。ありがとうございます。
- 会 長：ありがとうございます。では石崎委員。
- 石 崎：このアンケートの結果は市報に載ったりするのでしょうか。
- 事務局：市報に載せるまでは考えていませんが、審議会では報告する予定です。
- 石 崎：1頁目の(4)で居住地について聞いていますが、同じ市内で移動している人がいるかもしれない。また、何年ぐらい西東京市に住んでいるかも気になります。居住期間によって印象が異なるのではないのでしょうか。
- 事務局：お住まいになっている年数によって、感じ方や考え方など意見が違ってくることもあるかもしれないので、住んでいる年数など項目を加えることはいいと思います。
- 石 崎：2頁目の⑩について、「武蔵野の景観の面影を伝える」に雑木林とあるが、分からない若い方もいるのではないのでしょうか。
- 事務局：下のほうに注釈を入れるなり、ご意見を踏まえて表現を修正させていただきます。
- 石 崎：5頁目、(4)番のSDGsですが、英語のつづりを入れてはどうでしょうか。
- 事務局：分かりました。趣旨を踏まえて検討させていただきます。
- 降 旗：5、6頁の地球温暖化対策について、温暖化の緩和策はもちろんのこと、今日世界の潮流であり温暖化によるダメージをどう抑えるかという適応策についても触れるべきではないのでしょうか。
- 事務局：なるべく可能な方向で検討したいと思います。ありがとうございます。
- 会 長：はい、内田さんお願いします。
- 内 田：4頁で、11番に「環境学習や教育の推進」があり、その下の17番に「学校における環境教育をはじめ市民・事業者に対する環境教育を実施させる」とあります。言葉として、「環境学習」と「環境教育」は意図的に使い分けているのでしょうか。特に意図がなければ環境教育で一本化してもいいのではないのでしょうか。
また、5頁のSDGsですが、SDGsだったらエスディーゼズとか振り仮名があってもいいのではないのでしょうか。
- 事務局：ありがとうございます。
- 石 崎：4頁目、「安心・安全な生活環境の確保について」の9番について、「歩道や自動車専用道路の整備を行い」とあるが、これは西東京市でできるのでしょうか。都道もあるかと思うので、全てを市ができるかと誤解される人も出るのではないかと。

- 事務局：今、都市計画街路事業が何本か予定されており、東京都が施工するもの、市が施工するものも、いくつかあります。この中で西東京市は、**自転車専用部分**を設けるような調整を図るという役割を果たす、という意味合いになると思います。
- 会長：そのほかに何かありますか。
- 玉記**：7頁目、(2)の12について、雨水タンクとあるが、雨水タンクは雨水を溜めるものなのでしょうか。浸透枘とは違いますか。
- 事務局：ここでは浸透枘ではなく、雨水を溜めて、庭木に水をやったりするようなタイプのを指しています。考え方としては同じなので、雨水タンクと合わせて浸透枘を併記することは問題ないと思います。
- 鈴木：アンケートの無作為抽出の考え方について、西東京市は広く、地域が22の地域に別れているなかでどのように地域に割り振るのか教えて欲しい。
- 事務局：配布先の抽出は、全くの無作為ではなく、何々町でどのぐらい、年齢も偏りが無いように、どのぐらいというフォーマットを掲げ、その中で無作為に抽出します。このため、地域の偏りが生じるということはありません。
- 会長：年代の構成も考慮されるのでしょうか。
- 事務局：年齢についてもある程度フィルターがかかった中での無作為になります。
- 会長：あと、回収率はどの程度になるのでしょうか。
- 事務局：前回は3,500人の方に出して37%くらいであり、4割から5割は行かないくらいと考えています。市の他のアンケートも同様かと思えます。
- 高木**：私は70代で、このアンケートを自分でやりましたが、抽象的な表現が多く回答に困りました。「身近な地域の環境」と「お住まいの地域の環境」で、自分の住まいの範囲を考えると、住んでいるのは幹線道路沿いだが、300メートル離れるとすごく静かなところもあるので答えにくい。何メートル範囲のことを書けばいいのかと、そこでまず止まりました。また、生物多様性やSDGsなど、新しい言葉が結構出て来るため年配の方には難しいのではないのでしょうか。
- 事務局：ご意見ありがとうございます。時間も無いところですが、可能な限り修正していきたいと思います。
- 渡邊：回収率が低いということだが、それに対して何か反省する点とかは考えられるのでしょうか。
- 事務局：正直なところ、37%という数字をみて、高めることはなかなか難しいのかなというのが率直な感想です。
- 渡邊：このアンケートを最初に見たとき、テストみたいで抵抗があった。必要ない質問は省き、もっと文字を大きくしたりしてはどうか。さすがにこれが送られて、市民の義務だから出してくださいと言われても、出さないでおこうかなと考えてしまう。
- 事務局：回収率が低い点についてはこちらも課題として認識し、今後に生かしたいと思います。ありがとうございました。
- 鈴木：印刷はカラーでしょうか、白黒でしょうか。
- 事務局：白黒です。
- 鈴木：カラーだったらもう少し印象が違のかなと思いました。
- 玉記**：ネットアンケートみたいな方法は検討しないのでしょうか。
- 事務局：自治体等で昨今やり始めているところもあると聞いていますが、仕組みを聞くと、例えば、Tカードの会員のデータを使って、答えるとポイントをあげるみたいな仕組みらしいです。これを、行政としてやるのは色々ハードルがあるため、検討

の台には上がりましたが、今後の課題ということで、今回は紙ベースになりました。

○渡 邊：例えば、市役所にアンケート用紙を置いておき、待ち時間に記入してもらうなどもあるのではないのでしょうか。情報はたくさんあった方が良いとは思いますが、無作為かと言われるとちょっと難しいものがありますが。人口が20万人の中で、配布数が2,000人で、回収率30%と考えると、データとしては乏しい気がします。

○事務局：ありがとうございます。可能かどうかお答えするのは難しいですが、可能性については検討させていただきます。

○石 崎：このアンケート結果について、市議会等でお話しになるのでしょうか。

○事務局：まず、計画を策定する際、手続きとしてパブリックコメントにかけ、計画の素案段階で市民の皆様に見ていただき、ご意見をもらいます。このパブリックコメントをかける前に、審議会の皆様には同じものを提供して、ご意見をいただくという形になります。

それから冒頭、アンケートの取り扱いのご質問をいただきましたが、よくやるのは計画の後ろに資料編という形でアンケートの概要や結果を付けます。そういった形で計画書の中に盛り込むことで、結果的に多くの方がご覧いただけるように工夫したいと思います。

○会 長：さまざまなご意見が出ましたが、よろしいのでしょうか。

○事務局：貴重なご意見をありがとうございました。アンケートの回答しやすさ、分かりやすさ、3ページあたりの見やすさなど、もう少し工夫させてください。お預かりをさせていただいて、もう少し配慮したいと思います。

○会 長：ありがとうございます。

○事務局：ご意見はこの場で出尽くした感はありますが、もしも追加でご意見がありましたら、「第2回審議会に関する意見等について」という用紙を使ってご意見を頂ければと思います。ただ、作業の都合上がありますので、8月27日の月曜日までにFAXまたはメールで送信ください。

○会 長：では、もし追加がございましたら8月27日までに事務局宛によろしくお願いいたします。

(3) 第2次環境基本計画（後期計画）「計画策定の背景」「計画の基本事項」「西東京市の現状と課題等」の検討について

○会 長：次に議題（3）の第2次環境基本計画（後期計画）「計画策定の背景」「計画の基本事項」「西東京市の現状と課題等」の検討について、事務局の説明をお願いします。

（事務局より資料3について説明）

○会 長：事務局からの説明に対して、何かご意見、ご質問等ありますか。

○石 崎：聞き逃してしまったのですが、21頁の自動車騒音の具体的な数字について、もう一度おっしゃっていただけますか。

○事務局：自動車騒音ですね。目標としては100%達成としていますが、全体の98%から94%が達成をしているというところです。

○石 崎：ありがとうございます。あと、公園ボランティアというのがありますがどのようなものでしょうか。

○事務局：公園を管理する上で、例えば、ゴミ袋を配布して掃除をしてくださるとか、そういったことを協力していただける方の登録制度を取っており、その数ということです。

○玉 記：最後のページの四角で囲ってある「環境学習事業数は」の2行目について、

平成24年度じゃなくて、27年度ではないでしょうか。

○事務局：はい、申し訳ございません。そうですね。

資料3については、なかなか意見等も出づらいかと思うので、こちらについてもお持ち帰りいただき、ご意見・ご質問等があれば紙面でご意見等いただければと思います。これにつきましては、9月18日ぐらいまでで結構かと思います。

○渡 邊：これがそのまま冊子になる感じなのでしょうか。

○事務局：体裁の変更や、多少データ更新があったりしますが、概略はこの部分が前半部分に入ります。ただ、全体の構成の中では、例えば、現状と課題を切り離すということになると思いますが、基本的にはこれが計画の前段の部分のたたき台となります。

○渡 邊：5頁で、「5年間を見据えた方向性をかがみかんがみ」、は違いますよね。

○事務局：ここもミスプリです。「かんがみ」でございます。

○渡 邊：産業の方で、第1次産業とか第2次産業って、分からない人もいるかもしれないので、その辺も説明してはどうでしょうか。

○事務局：分かりました。そのような細かな点につきましては配慮したいと思います。

○会 長：そのほかにもございませんか。細かな気になる点は、紙に書いてお伝えしたほうがよろしいですね。

○事務局：そうですね。そのほうが私どもも確実に、漏れがなくできます。

○会 長：聞き逃してしまったのですが、14頁で、光化学オキシダントについてはデータもないということでしょうか。

○事務局：光化学オキシダントのデータはあります。データはありますが、定めている環境基準値の達成が難しく、達成できていないといった状況だと聞いています。

○会 長：その後の21頁でも、光化学オキシダントの目標値を達成できないとしているので、データを隠している印象を受けてしまいました。もしデータがあるようなら、載せておいたほうが良いと思います。

○事務局：分かりました。細かなデータもありますので検討します。

○会 長：環境基準の設定根拠が曖昧だということか。

○事務局：達成できてない言い訳になってしまいますが、そういった要素もあるかとおもいます。東京都内は夏場に光化学スモッグを発生しやすい状況にあります。ただ、一つには厳しいというのも現実としてはあるので、バランスを取りながら、書きぶりを考えたいと思います。

○会 長：あと、現時点で要因分析が行われてないのか、それとも、冊子体にする時点でも行われぬのか。

○事務局：要因分析をしなければ取組の方向性が出ませんので、きちんと行いたいと思っています。

○降 旗：持続可能な環境目標との関係が5頁に書いてあり、最後に「SDGsとのつながりを明確にし、目標達成に貢献できる計画とします」とありますが、最終的にどんなイメージでまとめるのでしょうか。

○事務局：ここは私どもも難しいと思っており、今後ご議論いただきたい。なかなかピンポイントではまるものがないのは確かですが、SDGsは自治体もいろいろと取り入れています。今のイメージでは、施策の取組の方向性と、SDGsのターゲットが重なってれば、そのロゴを付けたり、リンクしていることを説明で補足したりなどが考えられます。ビジュアル的に、ここの施策がSDGsの施策の方向性と合っていることをまず示し、そういうことが役所の施策の中でこれから関連していくことの頭出しができればと考えています。本来なら、市の総合計画があって、市全体の施策とSDGsのかかわりが示されているほうが良いとも思うので、調整しながらま

とめたい。

- 降 旗：SDGsは世界全体の共通の目標になっているので、かなり地域ごとに実情が違ふと思います。そういう意味では、やっぱり西東京ならではの、力を入れるところを明確にしていきたい。
- 会 長：ありがとうございます。そのほかに何かございますか。
- 事務局（部長）：ご議論いただきありがとうございます。今日お配りした資料3が、実際にこれから作っていく計画の前段になります。従いまして、文言や表記の部分も見ていただきたいのですが、これから5年間、どういった計画を作っていくのか、事業を展開すべきか、これが第3回のメインテーマになります。そういった意味では、これを読んだ中で、今、降旗委員からもご指摘があったように、例えば、SDGsをどう表現していくのか、あるいは委員の皆様のお立場で、環境をよくするためにはこういった部分が重要なんじゃないか。そのようなアイデアを持って、次回の会議に参加いただければありがたいと思っています。
- 会 長：ありがとうございます。では、先ほど事務局から説明がありましたように、こちらに関しましては9月18日までにメール等でお知らせをお願いします。今、宿題も出ましたので、お考えいただければと思います。
- 事務局：ありがとうございました。お疲れさまでございました。

（4）その他

- 会 長：では、次に議題4、そのほかについて、事務局から説明ございますか。
- 事務局：次回の審議会ですが、10月24日水曜日を予定しております。また時期が近づきましたら改めて通知をさせていただきたいと思います。

< 3 閉会 >

- 会 長：では、ほかに委員の皆様から何かございますか。特にないようですので、これにて第2回環境審議会を閉会させていただきたいと思います。

以上